

評価事業名	学習指導			整理No	15
担当課	教育指導課	評価責任者	教育指導課長 朝日滋也	作成者	中澤敏義

1. 事業の目的・目標 Do

事業の目的／根拠法令等	豊島区教育ビジョンを指針として、区民の期待に応える教育を実現する。
事業の目標	学習の習慣、確かな学力、体力、豊かな人間性等を身につけることができる。

2. 目標に対する達成状況

達成度指標名 (算定式等指標の説明)	ベースライン (設定年度)	実績			目標値 (目標年度)	目標値に対する現在の達成度	目標設定の考え方
		19年度	20年度	19-20年度の改善率			
自宅学習の時間数(1日1時間以上自宅で勉強する子どもの割合)	小学生:26.2% 中学生:21.8% (18年度)	-	-	-	小学生:76.0% 中学生:88.4% (23年度)	-	18年度意識・意向調査結果(II-5)で30分程度以下を1時間程度に引上げた数値を目標値に設定。21年度からは、基礎基本調査「アンケート項目」で実施することを検討する。
基礎学力の習熟度 区学力調査目標達成割合 ①国語読解力 ②算数・数学思考力	①小学校:77 中学校:64 ②小学校:64 中学校:36 (19年度)	①小学校:77 中学校:64 ②小学校:65 中学校:36	①小学校:70 中学校:64 ②小学校:65 中学校:60	①小学校:-9% 中学校:±0% ②小学校:+2% 中学校:+67%	①小学校現状以上 中学校:65 ②小学校:70 中学校:65 (23年度)	①小学校:100% 中学校:98% ②小学校:93% 中学校:92%	①中学国語読解力は、当面65を目標とする。 ②小学算数は70、数学は65を当面の目標とする。
毎週何かのスポーツに取り組んでいる子どもの割合(毎週スポーツに取り組む子ども/体力テスト参加児童数)	男子:83% 女子:81% (19年度)	男子:83% 女子:81%	男子:81% 女子:77%	男子:-2% 女子:-5%	90% (23年度)	男子:90% 女子:86%	20年度体力テストアンケート結果で「まったく運動をしないと回答した者を除く数値を目標値とした。
将来社会や人のために役立つ仕事がしたいと思っている子どもの割合	小学生:45.9% 中学生:38.5% (19年度)	小学生:45.9% 中学生:38.5%	小学生:45.6% 中学生:40.6%	小学生:-0.7% 中学生:+5.5%	小学生:82.1% 中学生:83.2% (23年度)	小学生:55.6% 中学生:48.8%	「児童・生徒の学力向上を図るための調査(20年度東京都、小4、中1)」で「どちらかといえばそう思う」と答えた者を含めた割合を目標値に設定。
区立幼稚園の入園者率 (4歳児入園者数/定数90人)	80.0% (19年度)	80.0%	63.3%	-21%	80% (23年度)	79%	当面ベースラインの数値を目標値に設定する。
区立小・中学校の入学者率 (入学者数/学齢児童・生徒数)	小学校:89.4% 中学校:66.8% (19年度)	小学校:89.4% 中学校:66.8%	小学校:86.6% 中学校:64.3%	小学校:-3.1% 中学校:-3.7%	小学校:90% 中学校:70% (23年度)	小学校:96% 中学校:92%	当面ベースラインの数値を超える数値を目標値に設定する。

3. 事業概要

事業内容	①確かな学力の定着、②子どもの体力・健康の増進、③豊かな人間性の育成、④教育力の向上、⑤教育環境の充実の5つの観点から事業を展開し、総合的な学習指導効果の達成をめざしている。		
運営形態	2. 一部業務委託	委託の内容	英語教育、健康教育、連合行事・音楽鑑賞等の事業で、業務の一部を民間事業者へ委託。
20年度の取り組み	新規事業(3事業)及び拡充事業(10事業)を含む全41事業を実施し、区立学校教育の充実に取り組んだ。	関連する部署・外部団体	国、東京都、区立学校、民間企業、地域団体、個人

4. 主な取り組み内容

項目	18年度	19年度	20年度	事業をとりまく外部環境の変化
学力的定着	区立小学校英語教育推進事業 2,506時間	4,365時間	4,346時間	・児童・生徒に生きる力を育むため、(知)確かな学力の向上、(徳)豊かな人間性の育成、(体)体力と健康の増進に向けた一層の取組みが求められている。
	区立中学校英語教育推進事業 1,485時間	1,426時間	1,925時間	
	区立中学校少人数指導事業 8校12人	8校11人	5校5人	・新学習指導要領が告示され、基礎的・基本的な内容の定着とこれらを活用する能力の育成が新たな方向として示された。また、児童・生徒の言語活動能力の充実が求められ、小学校では、外国語活動が導入されることとなった。
	水曜トライアルスクール事業 8校21人	8校21人	8校21人	
	区立小・中学校学力向上推進事業(算数・数学) —	—	2,244千円	
	区立小・中学校国語力向上事業 —	—	19,660千円	・学校は、それぞれ明確な経営方針の下、地域の様々な主体との連携を進め、特色ある学校づくりを推進することが求められている。
体力健康	中学校体育大会 1,830千円	1,83千円	1,830千円	
	健康教育推進事業 —	—	740千円	
	食育の推進事業 —	310千円	262千円	
人間性	連合行事・音楽鑑賞教室等 5,082千円	5,162千円	5,205千円	
	区立幼稚園児幼前期道徳性育成事業 —	—	9,594千円	
	「次世代文化の担い手」育成事業 派遣校6校	派遣校7校	派遣校7校	
教育力	教員研修 延1,163人	延1,881人	延1,843人	
	新教育課程研究 —	—	568千円	
	教育研究会、研究校等研究活動 11,736千円	11,608千円	11,592千円	
	指導書・学習資料・社会科副読本等作成 3,027千円	3,696千円	3,749千円	
教育環境	豊島スクールスタッフの派遣 延230回	延227回	延174回	
	スクールライブラリー活性化5カ年計画事業 推進校6校	推進校6校	推進校6校	
	プロポーザル制度による特色ある学校づくり推進事業 12校	17校	23校	
	教科用図書採択 12千円	56千円	52千円	

(単位:千円)

構成事務事業・活動名	実績					計画	
	平成18年度	平成19年度	伸び率	平成20年度	伸び率	平成21年度	伸び率
指導書・学習資料作成等経費	3,027	3,696	18%	3,749	1%	3,899	4%
教育研究活動等推進経費	11,736	11,608	-1%	11,592	0%	11,929	3%
教職員研修会経費	1,573	1,039	-51%	1,034	0%	2,033	49%
区立中学校英語教育推進事業	6,526	6,324	-3%	8,489	26%	9,469	10%
区立小学校英語教育推進事業	18,334	19,134	4%	22,491	15%	28,864	22%
連合行事・音楽鑑賞教室等事業経費	5,082	5,162	2%	5,205	1%	5,351	3%
教科書採択運営経費	12	56	79%	52	-8%	232	78%
豊島スクールスタッフ事業経費	2,517	1,902	-32%	1,789	-6%	2,910	39%
区立中学校少人数指導事業経費	16,966	14,852	-14%	7,514	-98%	3,060	-146%
水曜トライアルスクール事業	1,743	1,552	-12%	1,570	1%	1,488	-6%
みらいチャレンジスクール支援事業経費	1,506	4,373	66%	4,779	8%	6,000	20%
スクールライブラリー活性化5ヵ年計画事業	2,063	2,079	1%	2,129	2%	2,351	9%
区立小・中学校学力向上推進事業(算数・数学)	-	-	-	2,244	100%	3,965	43%
新教育課程研究経費	-	-	-	568	100%	1,150	51%
健康教育推進事業	-	-	-	740	100%	940	21%
区立小・中学校小規模校授業づくり支援事業経費	-	-	-	-	-	9,384	100%
としま教育ネットワーク事業経費	-	-	-	-	-	1,078	100%
豊島区読書フェスタ事業経費	-	-	-	-	-	170	100%
英語カリキュラムの充実	2,428	2,398	-1%	2,756	13%	5,302	48%
「次世代文化の担い手」育成事業	2,137	2,281	6%	2,217	-3%	2,200	-1%
キャリア教育(中学生の職場体験)	-	59	100%	221	73%	726	70%
食育の推進事業	-	310	100%	62	-400%	478	87%
区立幼稚園幼児期道徳性育成事業	-	-	-	9,594	100%	10,091	5%
直接事業費 計	75,650	76,825	2%	88,795	13%	113,070	21%
人件費	28,220	31,920	12%	33,150	4%	29,400	-13%
人件費 (人数)	3.4	3.8	11%	3.9	3%	3.5	-11%
非常勤等 (人数)	0	0		0		0	
人件費 計	28,220	31,920	12%	33,150	4%	29,400	-13%
事業費 計	103,870	108,745	4%	121,945	11%	142,470	14%
財源内訳							
国・都支出金	3,337	5,472	39%	8,098	32%	11,097	27%
受益者負担	0	0		0		0	
地方債	0	0		0		0	
その他	0	0		0		0	
一般財源	100,533	103,273	3%	113,847	9%	131,373	13%

5. 現状の評価

Check

評価の視点	ランク	現在までの到達点
妥当性 (目的・目標との整合性・目標値の適切性)	b	現在、区立学校児童・生徒の総合的な学習効果の向上をめざし、「学力の定着」「人間性の育成」「体力・健康の増進」「教育環境の充実」の4つの分野で事業を展開している。これに合わせて、今後は学校個別の教育課題を明確にし、これに対する対応策を進める。
サービス水準・有効性 (顧客の視点)	b	現在、事務事業の見直し、再構築を進めている。今後更に事業の有効性を検証しつつ、一層の選択と集中を進める。また、教育サービスの対象が子どもであるとの視点を徹底し、サービスのあり方の転換を図っていく。
効率性・業務改善 (財務や内部プロセスの視点)	c	現在、成果主義に立って事務事業を進めている。今後、より客観的で明確な成果目標と尺度を設定して事務事業に取り組んでいく。学校現場に効率性・事務改善等の意識の醸成を進める。
安定性 (内部プロセス、人材育成ほか)	a	事業は順調に進捗している。学校教職員に事業推進速度、効率性、改革意識等を醸成していく。

6. 目標達成に向けた今後の取り組み

Action

	内容
重点・新規・見直し事項 * 目標達成のために、今後取り組みたいこと	新たな教育課題に迅速かつ的確に対応するため、事業の見直し、再構築を積極的に進める必要性を強く認識している。

7. 総合評価(管理職が記入してください)

Action-Plan

現状の評価	A 大変良い B 良い C 普通 D 悪い	B
今後の事業の注力度	A 拡充 B 継続 C 縮小 D 廃止又は根本的な見直し	B
<上記判断の理由と今後の方針>		
<p>学習指導の充実については、豊島区教育ビジョンに基づき、ほぼ計画通り進行しているため、上記評価とした。 今後、学校の教育力向上のためには、現在の事業を見直し、重点化を図る必要がある。 したがって、豊島区教育ビジョンの見直しに当たっては、各事業の整理統合とともに、効果的な新規事業の検討が必要である。</p>		

点検・評価委員会評価表〔外部評価〕

評価事業	整理No.	15	事業名称	学習指導	
	担当課	教育指導課		内部評価者	教育指導課長

評価の視点	意見
現状の評価 （目標と施策との整合性・施策の適切性）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国学力・学習状況調査の結果は良好と聞いているが、問題の難易度によって平均点等は変動するので、点数や順位にこだわり過ぎず、児童・生徒の学力向上の課題発見・解決、及び教員の授業改善に活用されたい。 ・ 算数・数学については、少人数指導の充実や退職校長による学校巡回指導、中学校入門期における算数復習テストの全校実施などにより、大きな成果を挙げている。 ・ 子どもたちの学力を向上させるためには、すべての学習の土台となる国語力を高めることが大切である。国語力向上キットを全校に配布し、言語活動の充実に向けた取組みが各校で行われており、国語力向上の下地はできたので、さらに次の段階を目指してほしい。
今後の事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区学力テストの対象を拡大するなど、個に応じた指導の一層の充実を図るための支援が必要である。習熟が不十分な内容をどうやって定着させていくのか、その手だてを明確にし、つまずきを的確に見付け、克服させる指導を充実させる必要がある。 ・ 家庭での学習習慣を定着させるため、小学生段階からの働きかけを教育委員会として考えていただきたい。また、宿題の出し方や内容についても、個に応じるといった視点から検討する必要がある。
その他意見・指摘	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼・小・中の学びの連続性を確保するため、学校教育の枠組みについても精査した上で、教育内容・方法・制度の充実を図られたい。例えば小学校では、教員の得意な教科によって、授業を受ける子どもの学力の伸びが大きいので、高学年における教科担任制などの導入を検討する必要がある。 ・ 指導主事の指導・助言の質的充実を図るため、教育委員会として多様な施策を考え、実施する必要がある。